



# 高瀬中だより

郡山市立高瀬中学校  
2021年12月10日(金)  
《第32号》 文責:校長 草野 仁



## 高瀬小中連携授業研究会 ～小中コミュニティ・スクール(CS)小中一貫教育の推進～

### 【高瀬小中CS小中連携授業研究会の目的】

- 高瀬小中の教員と一緒に授業づくりを行い、互いに学び合いながら、小中9年間を通じた授業改善を行う。
- 次年度に高瀬小中CSとして学校、保護者、地域で取り組むSDGs等の活動内容を検討する。

今週8日、第2回高瀬小中学校コミュニティ・スクール(CS)小中連携授業研究会を開催しました。

今回は小学校の理科と体育の授業を、前回(※本紙13号参照)同様、小中の教員が2人(TT)で行いました。事前の教材研究等の準備も小中の教員が一緒に行いました。

授業を参観した後、小中CS学校運営協議会委員も交えて、ICTを活用した授業作りや小中の系統的な学習指導等について協議しました。

研究協議の後には、小中の教員も参加して高瀬小中CS学校運営協議会を開催し、次年度のCS協働活動について話し合いました。話し合いの内容を基に小中でさらに検討し、小中共通で取り組むSDGs等の教育活動を双方の次年度教育課程に位置付けます。その上で、高瀬小中CSを基盤とした小中一貫教育による教育活動を次年度更に推進していきます。

### 《小中教員ペア(TT)による授業》

#### 【6年理科の授業(小) 鈴木先生(中) 斉藤先生】



#### 【研究協議会】



### 【研究協議内容・感想等から】

- タブレットを活用した授業に驚いた。子どもの雰囲気がとてもいい。中学校に進学しても安心。(協議会委員)
- ロイロノートで考えを共有し、グループの仲間達で考えを深めているのがとてもよい。(中教員)
- タブレットの活用について大変勉強になった。書くこととどうまく併用させて取り組みたい。今学習していることが力学へとつながっていく。(中教員)
- 話し合いがとても活発。先生のサポートもとてもよく、どの子も充実した学習になっていた。(協議会委員)
- 児童とのふれあいが良かった。架空の目盛りと重さを作るなど高度な活動をしている子もいた。ロイロノートの活用が大変よくできている。(中教員)
- 間違えた児童もみんなの力で乗り越えた。「血と汗の結晶」という言葉も出てとても良かった。(小教員)

### 【4年体育の授業(小) 根本先生(中) 折笠先生】



#### 【研究協議会】



### 【研究協議内容・感想等から】

- 画面で自分の演技を客観的に振り返られる。データも手元に残るため振り返りにも使える。(小教員)
- 画像をみんなで見てどうすれば上手くできるなどを話し合っ、それを次の実技に生かしていた。(中教員)
- タブレットを見て皆で話し合う(=言語化する)ことで技能に対する理解の深まりが見られた。中学校でのより高いレベルでの技能習得や部活動での反省ノート等での言語化に発展的につながる。(中教員)
- タブレットを使うことにより、実技の時間が少なくなってしまうことが課題。(中教員)
- 画像で分かるので、上達が早くなる。(協議会委員)
- タブレットを活用することで自分の改善点が見て良く分かり、短時間でも効果的な練習ができる。(中教員)

### 《運営協議会:次年度CS協働活動について》



### 【SDGs活動(案)】

- 歯科受診率向上、家庭と連携した歯磨き(G3)
- あいさつ運動(G5・10・11・16・17)
- 食育・給食の残食削減(G1・2・3・14・15)
- 小中合同保護者引き渡し訓練(G11・13)

### 【小中一貫教育(案)】

- 小中連携研究授業(TT)・相互参観による授業改善
- ロイロノートを活用する探究的学習等を小中で共通に教育課程の中に位置付ける(※総合の時間等)。
- 「伝える力」の育成を小中の重点指導事項とする。
- 「家庭学習の手引き」を小中で連携して活用する。

### 【健全育成(案)】

- 小中連携による系統的な情報モラル教育の推進
- 中1ギャップ(学校不適應等)への対応
- 適切な部活動選択のための部活動体験の実施

# 授業参観/学年懇談会



【2年美術】

【3学年懇談会】

先週3日、第3回授業参観・学年懇談会を開催しました。授業参観では、お子様がタブレットを効果的に活用したり作品制作や調理実習に一所懸命に取り組んだりする様子を間近で見ていただくことができました。

学年懇談会では、2学期の学習・生活面の反省や3年生は受験に関する内容等について説明、質疑が行われました。また、全学年で養護教諭が、今年度高瀬小中コミュニティ・スクールのSDGs活動として取り組んでいる歯科受診率向上や食育、残菜削減等について、活動の様子や成果、引き続いての家庭での協力等について話をしました。

今年度もあと3カ月余り。3年生の進路実現を最優先に教育活動の充実・改善に努めていきます。

## 高瀬小中CS「あいさつ運動」



昨日から2回目の高瀬小中コミュニティ・スクール（「あいさつ運動」）が始まりました（12/23まで）。保護者、地域の方が高瀬郵便局前と小学校前で、交通安全指導を行いながら登校してくる子どもたち一人一人に「おはようございます」と朝の挨拶をさせていただきます。

子どもたちも元気に「おはようございます！」と返してくれます。元気な朝のあいさつが皆の気持ちを明るくします！

※「全校表彰（栄光の記録）」は次号に掲載します。

来週の主な行事予										
曜日	主な内容	学級	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時		
13日(月)	給食 ○ 部活 ○	□高瀬小中CSあいさつ運動 □11:45～12:15 校内研修 □17:45完全下校	1の1	英語	国語	保健	理科	数学	学活	
			1の2	社会	数学	家庭	家庭	保健	学活	
			2の1	国語	英語	数学	保健	理科	学活	
			2の2	英語	理科	社会	保健	国語	学活	
			3の1	国語	保健	理科	数学	社会	学活	
			3の2	理科	社会	英語	国語	数学	学活	
14日(火)	給食 ○ 部活 ○	□高瀬小中CSあいさつ運動 □都女大附属、学法石川、一関学院面接指導 □AET来校 □17:45完全下校	1の1	理科	英語	美術	数学	社会	道徳	
			1の2	英語	理科	国語	数学	道徳	保健	
			2の1	数学	保健	社会	英語	美術	社会	
			2の2	国語	保健	技術	技術	英語	数学	
			3の1	数学	国語	社会	美術	理科	道徳	
			3の2	国語	社会	理科	英語	保健	数学	
15日(水)	給食 ○ 部活 ×	□高瀬小中CSあいさつ運動 □校内研修 □部活休養日 □16:30下校	1の1	社会	数学	英語	保健	国語	校内研修会	
			1の2	英語	保健	国語	数学	理科		
			2の1	理科	社会	高夕	国語	音楽		
			2の2	国語	国語	高夕	英語	音楽		
			3の1	英語	数学	国語	社会	高夕		
			3の2	数学	音楽	理科	英語	高夕		
16日(木)	給食 ○ 部活 ○	□高瀬小中CSあいさつ運動 □調査書作成委員会 □R4年度PTA本部役員選挙会18:00 □17:45完全下校	1の1	数学	英語	国語	理科	音楽	保健	
			1の2	理科	数学	音楽	国語	社会	英語	
			2の1	国語	英語	理科	数学	道徳	社会	
			2の2	理科	社会	英語	音楽	道徳	国語	
			3の1	英語	音楽	保健	国語	道徳	理科	
			3の2	国語	数学	社会	英語	保健	道徳	
17日(金)	給食 ○ 部活 ○	□高瀬小中CSあいさつ運動 □生徒会専門委員会 □1の1調理実習 □スクールカウンセラー来校 □17:45完全下校	1の1	国語	家庭	家庭	数学	社会	英語	
			1の2	社会	理科	美術	国語	保健	家庭	
			2の1	美術	技術	技術	保健	数学	理科	
			2の2	数学	英語	国語	社会	美術	社会	
			3の1	理科	英語	社会	数学	家庭	保健	
			3の2	英語	保健	理科	美術	数学	国語	
18日(土)	□休日									
19日(日)	□休日 □市内一斉NO部活動デー									

# 田村町少年少女の主張発表会

最優秀賞「質の高い教育をみんなに」渡辺さん



今月4日、田村公民館で少年少女主張大会が開催され、最優秀賞を受賞した田村地区小中学校6名の児童生徒が発表を行いました。

本校の渡辺さんは、世界の現状を踏まえながら質の高い教育の必要性について主張しました。聴衆の心に響く堂々とした素晴らしい発表でした。以下、全文を掲載します。

みなさんは、文字の読み書きや基本的な計算ができない子ども達がどれだけいるか、知っていますか。

今、世界では、学校に行けない子ども達が約五九〇〇万人もいます。その半数以上の約三二〇〇万人が女子であると言われてます。

女子が教育を受けられない理由は、「女子には教育は必要ない」という古い慣習や、宗教上の問題です。「結婚適齢期になれば結婚するのが当たり前」という考え方が、深く根付いている地域が多く、就学中であっても、結婚させられてしまうこともあり、「児童婚」と呼ばれています。それによって、女子は学校へ通えなくなっているのです。また、武力紛争が起こっている国では、子どもが兵士として戦っていたり、住む家を失い、難民となってしまう子ども達も多いのです。このような状況の中では、安心して教育を受けることができません。

一方、国内に目を向けてみると、日本では、義務教育という法律があり、勉強する環境が整っています。しかし、いじめや暴力、親の虐待や育児放棄が、ストレスや心の病気につながり、学校に行けない子どもが多くなっているのです。

このような状況を見ると、質の高い教育よりも貧困や不平等を解決することが必要ではないかと思われがちですが、そうではありません。教育は持続可能な社会にとって、有能かつ効果的な手段の一つなのです。多くの人々が自立した人生を送るために、必要不可欠なものなのです。社会の中で働くための最低限の知識や、社会生活に必要なマナーやルールなど、さまざまな事柄を、私たちは義務教育9年間で学んでいるのです。日常生活に必要な計算能力、情報を取得するための読解力、人間関係を築くためのコミュニケーション力など、私たちは学校で身に付けているのです。文字が読めなければ、本を読む楽しささえ味わうことができません。

例えば、世界で起きている深刻な飢餓の問題を解決するために、野菜の種を送ったとしましょう。文字が読めなければ説明書を理解することができず、どのような土地に植えるのか、どのくらい水をやればよいのかなど、大切なことが分からず、野菜を育てることができません。現地に向いて、一から教えてあげることが大切で、その国に合った支援が必要になります。

このようなことから、私たちにあって教育を受けることは、自立した生活をするために重要なことだと言えます。必要な教育を受け、多くの方が仕事に就いて働くことができるようになれば、経済的にも安定し、貧困や飢餓といった問題も解決することができるのではないのでしょうか。

さらに、専門的な知識や技能を身に付けるために、上級学校への進学など、さまざまな教育の場や機会を準備したり、提供したりすることも必要ではないかと思えます。人生八十年と言われる時代です。いつでもだれでも学びたい時に学べる環境が理想だと思います。

現在は、男女の性を問わず、お互いが一人の人間として認め合う、多様な社会の実現が重要視されています。また、世界が抱えている数多くの課題を解決に導くためにも、教育の力が必要です。

教育を受け、多くの知識を身に付けることによって、私たちは夢や希望を叶え、未来へとつながる力となります。そして、教育の力は、広い視野をもって、世界を見つめる力に変えてくれると思います。私はその力を信じて、自分の夢を叶えられるよう努力していきたいと思えます。